



河小だより



四日市市立河原田小学校
学校通信 第19号
令和4年 9月12日(月)
文責 校長 鳥居 純樹

4月に6年生対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果が届きましたので、報告します。この調査により、学力・学習状況の実態はある程度つかむことができます。県や全国平均との比較も行いますが、その結果よりも、結果を受けて本校の課題を明確にして授業改善していくことが大切だと考えています。また課題だけでなく、本校の強み、これまでの成果が表れている部分もたくさんあります。強みやよさを継続して取り組み、子どもたちの成長につなげていきたいと考えています。また学力や学習状況は家庭生活との関連もあります。ご家庭でのご支援・ご協力を引き続きいただきますようよろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査結果の分析

【国語】

- ・本校の平均正答率は、全国平均、県平均と比較してやや低い結果となりました。
- ・「知識・技能」の問題では、全体的には、全国平均、県平均よりもやや低い結果となりました。しかしその中で「我が国の言語文化に関する事項」は県平均、全国平均を上回る結果となりました。
- ・「思考・判断・表現」に関する問題は、全国平均よりもやや低くなりましたが、県平均を上回りました。特に書くことに関する問題は、全国平均、県平均よりも上回りました。

【算数】

- ・本校の平均正答率は、県平均、全国平均よりも低い結果となりました。
- ・「知識・理解」「思考・判断・表現」に関する問題ともに県平均、全国平均を下回りました。
- ・「数と計算」は県平均、全国平均との差が小さく、計算する力は身につけているといえます。「図形」「変化と関係」「データの活用」は低い結果となり、応用して考えていく力をつけていくことが今後の課題として挙げられます。

【理科】

- ・本校の平均正答率は、全国平均、県平均と比較してやや低い結果となりました。
- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」では、県平均、全国平均をやや下回りました。
- ・「地球」に関する問題では、県平均、全国平均を上回り、日常的な観察をもとにした知識や思考力は定着していました。

【児童質問紙より】

○質問紙の中に、「国語（算数・理科）の勉強は好きですか」「国語（算数・理科）の授業の内容はよくわかりますか」「国語（算数・理科）の勉強は将来社会に出たときに役に立つと思いますか」「算数（理科）の授業で学習したことは、普段の生活で活用できないか考えますか」という問いでは、県平均、全国平均よりも肯定的に回答している割合が高く、子どもたちの授業に対する姿勢や意欲が高いことが分かりました。

○「5年生までに受けた授業で課題解決に向けて自分で考え取り組みましたか」という質問では、肯定的な回答が県平均、全国平均を上回りました。また、自分の考えをまとめる活動、作文などの表現活動も肯定的な回答が高く、授業では課題解決に向けて各々の考えを出し合いながら、取り組んでいることがわかります。

○タブレットを活用して自分の考えを出すことなどICTの活用に関する項目では、県平均・全国平均を大きく上回りました。ICT活用実践推進校の指定を受け3年目ということで、タブレットを活用した授業が日常化されていることがわかります。

○地域行事への参加についても県平均・全国平均よりも高い割合で参加しているとの回答が見られました。地域や地区の行事へ子どもたちが積極的に参加することで、地域の方々とのかかわりが持てていることが本校の良さであると考えています。

●読書時間に関する質問では、「1時間以上読む」と回答した割合が3%弱でした。また「新聞を読んでいますか」という質問に関して「ほとんどまたは全く読まない」と回答した割合が90%弱となっていて子どもたちの活字離れが課題であると考えています。その一方で家庭にある本の冊数が県平均、全国平均よりも高く、読書できる環境にはあるものの読書をしていないことがわかりました。

●「自分には良いところがあると思いますか」という質問では、「当てはまらない」と回答した子どももいました。一人一人子どもたちがよいところをもっています。そこを伸ばすとともに認めあえる学級集団を引き続き作っていきたいと考えています。

●スマホやゲームをしている時間（月曜日～金曜日）では、1時間以上している子どもの割合が80%を超えています。スマホやゲームの約束について「約束はない」「約束を守っていない」という回答が約30%ありました。スマホやゲームの使用時間と学力との相関関係が話題となっています。ご家庭で時間を決めていただくことで、子どもたちが他のことに向かえる時間が確保できることにもつながると思います。

【学校としての取り組み】

*主体的・探究的な授業となるように、日々の授業の改善を図る。「河原田っ子学力向上アクションプラン」を各教室に掲示して、子どもたちに考えをもたせる授業づくりをすることで主体的に学ぶ授業づくりをすすめていきます。

*読書活動を推進し、読書をすることの楽しさ、面白さを味わわせる機会を多く設定していきます。

*子どもたちががんばっている場面やよい姿を担任だけでなく、全教職員が認めることにより、子どもたちの自尊感情を育てていきます。

*授業の中でも地域と連携して学習活動に取り組むことで、地域のよさや地域の方々の思いにふれ、郷土愛を育てるとともに、河原田地区に誇りを持ち、自分たちの地域やまわりにいる仲間を大切にすることを培っていきたいと考えています。

学校の大部分は授業です。子どもたちを育てていくのも授業が中心となります。河原田っ子学力向上アクションプランを全教室に掲示して二学期以降子どもたちも教員も意識して授業に取り組んでいきます。子どもたちには自分なりの意見をもつこと、教員には誰一人取り残さない授業を意識していきます。自分なりの考えをもち、違う考えを受け入れて考えを深めるような営みを日々の授業を通して行うことが子どもたちをよりよく成長させていくことと考えています。

二学期以降の各学級での取り組みへのご協力・ご支援をいただきますよう引き続き、よろしくお願いいたします。

